

Sustainability Report 2021



Creating a Better Future



目次

- 3 はじめに
- 4 サステナビリティへの取り組み
- 5 概要
- 6 地球を守る
 - 水の補給・処理・節約
 - エネルギーの節約
 - 廃棄物の削減とリサイクル
 - 気候変動への対応
- 15 人を支える
 - 従業員の健康と福祉を確保する
 - すべての人に学習機会を提供する
 - ジェンダーギャップを解消する
- 21 コミュニティを育む
 - 包括的な経済成長の促進
 - 地域振興を支える
 - 高い水準のビジネス運営を維持する
 - 他者とのコラボレーション

はじめに

SCII は、人類全体の未来は、私たちが現在行っているサステナブル（持続可能）な仕事と、それが社会の変革にどのように影響するかにかかっていると強く信じています。環境の激変、不平等、貧困に起因する不安のある世界では、ビジネスは成功しません。私たちの成功と繁栄は、持続可能な社会の存在に依存していることを認識しています。私たちは、環境破壊が私たちの生産性に悪影響を及ぼすことを目の当たりにしています。したがって、私たちは、気候変動の緩和、男女平等の改善、雇用の増加、そしてすべての人の生活の質の向上を目指して努力しなければなりません。

環境・社会的負荷の増大が将来の成長見通しを抑制し始める中、国連の持続可能な開発目標（UN SDGs）への対応を怠れば、ビジネスコストが増大する。さらに、SDGs を戦略的に統合することを怠ると、長期的な規制リスクや、政府が SDGs を国家政策に反映させようとする中で、風評リスクも生じます。ステークホルダーは、この議題に有意義に関与するようビジネスに期待しています。21 世紀に成功するためには、国連が策定した SDGs を達成することが、私たちのビジネス戦略にとって不可欠な要素でなければならないのです。

私たちのキャンパスは、環境への影響を最小限に抑え、従業員の健康と生産性を重視するため、最高水準のサステナビリティに則っています。前回の公害防止委員会による外部監査では、クリーンなキャンパスとして最高の認証である「グリーンカテゴリーステータス」を取得しました。今後も SCII は、環境と社会の持続可能性における卓越性を維持・向上させるために努力していきます。

サステナビリティへの取り組み

SCII では、サステナビリティを実践するために、3 つの大きな領域を定めています。それは、「地球」「人」「地域社会」です。

私たちの地球に対するビジョンは、環境を保護し、自然を回復するための行動をとることで、より緑豊かで健康的な世界を造ることです。従業員に対する私たちのコミットメントは、すべての従業員と経営陣にとって健康的で包括的かつ公平な職場を作り、すべての人にとって有意義な機会のある未来を形作ることです。SCII の社会との関わり方のコンセプトは、地域や国際的な機関とのパートナーシップを発展させ、持続可能な社会の実現に貢献することです。そうすることで、包括的で持続可能な経済成長を促進することを目指しています。


SCII は、国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」の重要性を認識しています。国連の 17 の SDGs に含まれる目標の多くは、当社の将来のビジョンと一致しています。私たちは、地球が抱える最大の課題の解決に貢献し、次世代のためにより良い世界を創るための世界的な取り組みに誇りをもっています。

ここで説明する 3 つの相互作用は、人類のより良い未来を創造するための私たちのアプローチの基礎を形成しています。私たちは、これらの各分野において、国連の SDGs の最も関連性の高いターゲットと私たちのビジネス慣行を一致させることを望んでいます。

本報告書では、SCII の活動に特化した主要なゴールとターゲットを抜粋しています。SDGs の目標と指標に関する詳細は、国連のウェブページでご覧いただけます。: <https://sdgs.un.org>.



概要

わたしたち 目指すもの	実績 <2021 年までの具体的な取り組み>	目標 <2025 年までの計画 >	国連 SDGs
地球を守る： より環境に優 しく、より健 康的な世界を つくる	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 水の完全自給自足 ✓ 公共下水道への未処理排水ゼロ達成 ✓ 一般生活排水の活用と灌漑技術導入により、緑化のための散水を最小限に抑える ✓ 自然採光と自然冷却による電気使用量の削減 ✓ 敷地内でのグリーンコンポスト（堆肥化）による埋立処分量の削減 ✓ リサイクル可能な E-waste（電子ゴミ）の分別 ✓ 敷地内の下水処理施設で堆肥を作るアップサイクルにより、化学肥料からの完全脱却 	<ul style="list-style-type: none"> + 敷地周辺の地表水や地下水のモニタリングと保全管理の継続 + 敷地内および施設内の水の効率的利用を更に向上する + 2025 年までに蛍光灯照明を全て LED に交換する。 + 2025 年までにエネルギー需要 30%以上を再生可能エネルギーでまかなう + 電子文書の活用による紙の使用量の削減 	
人を支える： すべての人にと ってより良 い未来を つくる	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 全社員に健康保険と傷害保険を提供 ✓ 敷地内禁煙率 100% ✓ 新入社員や学生を対象とした数多くの研修プログラム ✓ オンライン教育の配信プラットフォームを開発 ✓ 採用や昇進において、性別、性的指向、宗教、民族、身体的能力による差別を一切しない ✓ 女性の強いリーダーシップを積極的に推進する 	<ul style="list-style-type: none"> + 産休から職場復帰する女性への支援を強化する + 建物と敷地のバリアフリーを向上させる + 新型コロナウイルス（COVID-19）のため中断していたグローバル研修プログラムを復活させる + 2025 年までに、管理職および全てのレベルにおける女性の割合を 50%にする 	
コミュニティ を育む： 包摂的で持続 可能な経済成 長を促す	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地元と地方の新卒者を積極的に採用 ✓ 地元の現業職を公平な条件で正規雇用する ✓ 地元の現業職や個人経営者に新たな機会を提供する ✓ 社会福祉向上のための各種奉仕活動 ✓ いかなる贈賄に対しても例外を許さない方針 ✓ 全社員を対象とした IMS（情報機密管理システム）と PMS（個人情報保護管理システム）研修の徹底 ✓ 地元の大学生との共同研究開発プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> + 地元学生との連携範囲を拡大する + 農村部や恵まれない境遇にある新卒者の採用と育成を継続する + 最高レベルの情報機密管理と個人情報保護の実践を継続 + 地域振興のための新たなビジネスチャンスを創出 	

地球への思いやり

—より環境に優しく、より健康的な世界のための行動

関連する国連 SDGs の目標



すべての人が水と衛生設備を利用でき、持続可能な管理ができるようにする。

- 6.3 2030 年までに、汚染を減らし、投棄をなくし、有害な化学物質や材料の放出を最小限に抑え、未処理の廃水の割合を半減し、リサイクルと安全な再利用を世界的に大幅に増やすことによって水質を向上させる。
- 6.4 2030 年までに、すべてのセクターで水利用効率を大幅に高め、淡水の持続可能な取水と供給を確保し、水不足に対処し、水不足に苦しむ人々の数を大幅に削減する
- 6.6 2020 年までに、山、森林、湿地、川、帯水層、湖など、水に関わる生態系を保護・回復する



すべての人が、安価で信頼でき、持続可能な近代的エネルギーにアクセスできるようにする。

- 7.2 2030 年までに、世界のエネルギーミックスに占める再生可能エネルギーの割合を大幅に増加させる。
- 7.3 2030 年までに、世界のエネルギー効率の改善率を 2 倍にする。
- 7.b 2030 年までに、開発途上国、特に後発開発途上国、小島嶼開発途上国及び陸封型開発途上国において、それぞれの支援プログラムに従い、全ての人に近代的かつ持続可能なエネルギーサービスを提供するためのインフラを拡大し、技術を向上させること。



持続可能な消費と生産パターンの確保

- 12.2 2030 年までに、天然資源の持続可能な管理と効率的な利用を実現する。
- 12.4 2020 年までに、化学物質とすべての廃棄物のライフサイクルを通して、合意された国際的な枠組みに従って環境に配慮した管理を実現し、人の健康と環境への悪影響を最小限に抑えるために、大気、水、土壌への放出を大幅に削減します。
- 12.5 2030 年までに、予防、削減、リサイクル、再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する
- 12.6 企業、特に大企業や多国籍企業に対し、持続可能な慣行を採用し、持続可能な情報を報告サイクルに組み込むことを奨励する。



気候変動とその影響に対処するための緊急行動をとる。

- 13.3 気候変動の緩和、適応、影響緩和、早期警報に関する教育、啓発、人的・組織的能力の向上

6 水の補給・処理・節約

SCII では、気候変動による井戸の乾燥化で水不足の深刻さを実感しています。キャンパスでは雨水利用や水のリサイクルを実践しており、常に新しい節水方法を模索しています。水は重要かつ希少な資源であるため、私たちは削減、再利用、リサイクルによる水の保全に強くコミットしています。

業績ハイライトと目標に対する進捗状況

雨水利用

現在の成果

- ✓ 水資源の完全自給自足
- ✓ 地元にある既存の地下水貯留層への継続的な補充

雨水利用は、私たちの水管理目標の重要な一部です。15 万リットルの雨水貯留タンクと、地下水資源を貯水するための池を備えています。私たちは、必要な水をすべて自給し、淡水の外部依存は一切ありません。



今年は大雨のため、250 万リットル以上の雨水を採取し、地下水池の補充に使用しました。

雨水利用は、当社だけでなく、周辺地域にも地下水脈の補充という形で恩恵をもたらしています。



地下水貯水池

敷地内の下水処理

現在の成果

- ✓ 事業所から排出される未処理排水のゼロ化
-

私たちは、発生した排水をキャンパス内で運営する下水処理場（STP）で確実に処理するようになっています。私たちの廃水が自治体の下水道に流出することはありません。私たちは、排水を100%処理することで、2030年までに未処理排水を大幅に削減することを目指す国連のSDGs目標6.3に貢献しています

生活排水 & 灌漑

現在の成果

- ✓ キャンパス内の水利用効率を高め、水の総消費量を最小にする
-

スプリンクラーや点滴灌漑などの精密農業機器に投資し、造園用水の使用量を最小限に抑えています。さらに、ガーデニングに必要な水の多くは生活排水を再利用しています。

水の総消費量と取水量の削減は、国連ターゲット6.4の重要な側面であり、SCIIでの使用における主要な検討事項です。また、ターゲット6.6に沿って帯水層の保護と補充に努めています。

今後の目標

- + キャンパス周辺の地表水・地下水の保護と維持管理を継続する。
- + 地下水位と水の総消費量の監視を継続する。
- + 敷地や施設全体での水の使用効率をさらに向上させる。

地下水の維持管理は、消費と補給のバランスを慎重に調整する継続的な努力が必要なプロセスです。特に、前例のない気候パターンの時代には、これを予測することは難しいかもしれませんが。それでも私たちは、当社のため、そして地域社会や周辺の野生生物の未来のために、地域の水資源を守ることに全力を尽くします。



エネルギーの節約

SCII では、電力消費を最小限に抑えるために、さまざまな工夫をしています。可能な限り、高効率の機器に投資し、施設周辺の自然冷房や照明を活用することを選択しています。現在、さらなる節電を計画しており、近い将来、エネルギー需要を大幅に削減できる見込みです。

業績ハイライトと目標に対する進捗状況

自然採光と熱効率

現在の成果

- ✓ ガラストップのアトリウムからオフィスビル全体に自然光が降り注ぐ
- ✓ 戦略的に植えられた木陰による自然冷房

私たちのオフィスは、ガラストップが吹き抜けになっており、太陽光をふんだんに取り込むことができます。これは、快適な自然環境を提供するだけでなく、エネルギー消費と運用コストを大幅に削減します



自然採光のためのアトリウム

また、750 本以上の樹木に囲まれ、風通しの良い建物です。これらの木々は、建物を直射日光から守るために、戦略的に配置されています。木々の葉がもたらす日陰は建物を涼しく保ち、エアコンの必要性を大幅に減らしています。さらに、これらの木々は、二酸化炭素の排出を部分的に相殺し、周囲の空気の質を向上させます。



750 本以上の樹木が戦略的に植えられ、オフィスの自然冷房を提供

今後の目標

- + 2025 年までに建物内のすべての CFL 照明を LED 照明に交換する。
- + 2025 年までに必要量の少なくとも 30%を再生可能エネルギーでまかなう

電力消費量は比較的少ないのですが、さらなるエネルギー効率の向上を目指し、CFL 照明をすべて LED に置き換えています。2022 年から毎年 1 フロアずつ完成させ、2025 年までに全棟完成させる予定です。

また、キャンパス内では太陽光発電や風力発電の導入も視野に入れていきます。このプロジェクトは 2023 年に開始し、2025 年までにエネルギー需要の少なくとも 30%を満たす予定です。

廃棄物の削減とリサイクル

SCII では、キャンパス内で発生するあらゆる種類の廃棄物に対して、徹底した責任を負っています。国連 SDGs12 への取り組みは、特に廃棄物の防止とリサイクルに重点を置いており、ターゲット 12.5 と密接に連携しています。



SCII の社員とその家族が、近隣の保護区のゴミを撤去する様子

業績ハイライトと目標に対する進捗状況

生ごみ・食品廃棄物

現在の成果

- ✓ 現地で堆肥化することにより、埋立地への生ゴミの排出を最小限に抑える。
-

SCII では、廃棄物の分別を徹底し、生ゴミはすべてキャンパス内で堆肥化やリサイクルに回すことで、埋立地へ送られる廃棄物を大幅に減らしています。



堆肥を作るための生ゴミ



牛糞を発酵剤として作成した堆肥

汚水廃棄物

現在の成果

- ✓ キャンパス内で使用する肥料として、半固形汚泥をアップサイクルする
 - ✓ 化学肥料が不要になり、敷地からの流出も防げる
-

また、施設内で発生する廃棄物には、敷地内の下水処理場（STP）から出る半固形状の汚泥があります。この汚泥は天日で乾燥させ、景観のための堆肥として使用しています。また、キャンパス内では化学肥料を使用していないため、たくさんの果樹から採れる野菜はすべて有機栽培です。廃棄物をアップサイクルし、土壌や環境の汚染を減らすという私たちの取り組みは、国連SDGs12の多くの側面、特にターゲット12.4と一致しています。

電子・その他廃棄物

現在の成果

- ✓ 認可されたリサイクル業者を通して処理することにより、埋立地に届く電子機器廃棄物を制限する
 - ✓ 他の種類の廃棄物のリサイクルや全廃による削減
-

当社の電子機器廃棄物は、適用される法的要件に従って分別され、認定リサイクル業者に引き渡されます。これにより、より多くの電子機器廃棄物がリサイクルまたは処理され、埋立地に到達しないことが保証されます。



社内イベントで余った食品は、貧しい子どもたちに食事を提供する団体に寄付しています。



オフィスでは紙コップや紙皿の使用を完全に排除し、再利用可能な皿やカトラリーのみを使用しています。



オフィス内で発生したペットボトルなどのリサイクル品を、作業員の方に提供し、売却することで利益を得ています。このような取り組みにより、リサイクル品の埋立を防ぐとともに、労働者のお小遣い稼ぎにもなっています

今後の目標

- + デジタル文書への移行により、紙の無駄を排除する。
- + 地域社会での生ごみ堆肥化を先導する



化学肥料を使わずに、キャンパス内で数多くの種類の果実を生産しています

気候変動への対応

地球の気候が急速に変化していることは、SCII にとって重大な関心事です。私たちの拠点であるトウムクールでは、これまでにない気象パターンの影響を直接体験しています。井戸の乾燥や、カルナータカ州の隣接地域での大洪水など、これまでにない天候の影響を直接体験しています。このように、気候変動の緩和は、私たちのサステナビリティの取り組みの最前線に常に位置しています。

業績ハイライトと目標に対する進捗状況

紙媒体のデジタル化

現在の成果

- ✓ 電子文書への移行を促進する e-doc アプリケーションの開発
- ✓ 文書の電子化を全部門の標準業務として実施

ビジネスにおける紙の消費は、膨大なエネルギーや水の消費、CO2 排出量に結びついています。SCII では、誰もが電子的に文書を追跡・管理・保存できる e-doc 管理アプリケーションを開発し、紙の必要性を減らしています。このアプリケーションは、セキュリティ、プライバシー、法規制への準拠といった従来の要件を満たすと同時に、特に共同作業環境において即座にアクセスできるようになっています。

また、マニュアル類も印刷物からオンライン提供へと移行しています。紙のマニュアルや資料の電子化は、すべての部署で求められています。紙の消費を最小限に抑え、持続可能な活動を社内に浸透させるための取り組みは、国連 SDGs の目標 12.2 および 13.3 の両方に貢献しています。

今後の目標

- + 従業員主導のプログラムを通じて、気候変動問題に対する意識を向上させる。
- + 次の社用車としてエネルギー効率の高い EV またはハイブリッドカーに投資する。

紙を節約するための「ノー・プリンター・デー」など、さまざまなプログラムを設けることで、サステナビリティの問題に対する認識を高めることができるかもしれません。こうした取り組みは、社員が主導し、社内のチームが推進することで最大の効果を発揮する必要があります。

人への思いやり

—すべての人に有意義な機会を提供する未来を形作る

関連する国連 SDGs の目標



あらゆる年齢層の人々の健康な生活と幸福の増進を確保する

- 3.8 経済的なリスク保護、質の高い必須ヘルスケアサービスへのアクセス、安全で効果的、かつ高品質で安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジをすべての人に提供する。
- 3.a 世界保健機関（WHO）のたばこ規制枠組条約（Framework Convention on Tobacco Control）の実施をすべての国において適宜強化すること。



包括的で公平な質の高い教育を確保し、すべての人に生涯学習の機会を促進する

- 4.3 2030 年までに、大学を含む、手ごろで質の高い技術、職業、高等教育へのすべての女性と男性の平等なアクセスを確保する。
- 4.4 2030 年までに、雇用、ディーセント・ジョブ、起業のために、技術的・職業的スキルを含む適切なスキルを持つ若者と成人の数を大幅に増加させる。



男女平等を達成し、すべての女性と女兒をエンパワーメントする

- 5.1 あらゆる場所で、すべての女性と女兒に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
- 5.5 政治、経済、公的生活のあらゆるレベルの意思決定において、女性の完全かつ効果的な参加と、リーダーシップの機会均等を確保する。



従業員の健康と幸福の確保する

従業員のモチベーションや仕事への満足度は、会社が従業員の幸福に関与しているかどうかに関係しています。従業員は、自分たちの福利厚生をサポートしてくれる企業で働きたいし、そこに留まりたいと思うものです。そのため、SCII ではさまざまな方法で健康と福祉を促進しています。

業績ハイライトと目標に対する進捗状況

安全で楽しい職場づくり

現在の成果

- ✓ スタッフに健康保険と傷害保険に加入させる
- ✓ 100%禁煙のキャンパス
- ✓ セクシャルハラスメント防止のための定期的な会議・勉強会
- ✓ 全社員に提供されるレクリエーション、エクササイズ、リハビリ施設

社員には健康保険、団体傷害保険、6 ヶ月の産前産後休暇を付与しています。これにより、安全で効果的な健康保険を普遍的に利用できるようにすることを目指す、国連 SDGs のターゲット 3.8 に貢献しています。

また、国連の SDGs 目標 3.a や世界保健機関（WHO）のたばこ規制枠組条約に基づき、キャンパスは 100%禁煙となっています。

誰もが安心して働ける職場づくりのため、定期的にミーティングを行い、社員教育やセクシャルハラスメント防止に努めています。

福利厚生施設としては、室内ゲームやスポーツ用品、スタッフが休める病室などを用意しています。また、キャンパス内には散歩・ジョギングコースがあり、社員は昼休みにこれらを利用することが推奨されています。



SCII のスタッフによるレクリエーション

今後の目標

- + 産休からの復帰を支援する体制の整備
- + 身体障がい者のための建物全体のアクセシビリティの向上

SCII は、育児休業から復帰した社員のワークライフバランスを支援する体制を構築する必要があります。そのためには、フレックスタイム制の導入や再教育プログラムの充実など、さまざまな配慮が必要です。また、身体障がい者の雇用に向けた取り組みも必要で、そのためには建物や敷地のバリアフリー化も必要です。



すべての人に学習機会を提供する

革新的な IT 企業として、私たちは技術を通じて、アクセス可能で包括的な学習機会を促進するよう努めています。私たちは、社会で働く若い人たちのスキル育成に注力しており、これは国連のSDGs のターゲット 4.3 および 4.4 に直接貢献するものです。この業界では、再教育が雇用適性の必須条件となっており、私たちは従業員に技術、創造、問題解決のスキルを身につけさせます。このことが、受講生により良い経済的機会をもたらす、ひいてはすべての人に進歩をもたらすと強く信じています。

業績ハイライトと目標に対する進捗状況

グローバルトレーニング

現在の成果

- ✓ 多文化に対応した質の高い研修と業務スキルの提供
-

新卒社員や親会社の社員を対象に、さまざまな研修プログラムを実施しています。また、お客様の社員に対してもトレーニングを実施し、多文化でグローバルな環境での教育を通じて、お客様の人材変革のニーズを満たすお手伝いをしています。

インターンシップ研修と IT プロフェッショナル研修

現在の成果

- ✓ 大学生のスムーズな産業界への移行を支援
 - ✓ 大学生に産業界に関連するスキルや資格を身につけさせる
-

私たちは、トゥムクール大学のインターンシップとプロジェクト・トレーニングのプロバイダーとして登録されており、大学生に産業界の要求に触れる機会を提供しています。私たちのトレーニングは、学生に企業の世界で何が期待されているかを理解させ、就職の面接で成功するための自信を与えることを目的としています。

また、IT 分野での視野を広げるために、ソフトウェアエンジニアリングのサーティフィケートコースも提供しています。私たちは、就職に有利なスキルや市場に適したスキルを身につけます。学生は、個人的で魅力的な経験を受け、多様な評価を通じて自分の能力をテストし、関連する認定を取得することができます。



一緒に活動する地元の学生たち

e-ラーニングの活用

現在の成果

- ✓ 教育用オンラインプラットフォームを開発し、学習をより身近なものにする
-

SCII では、教育コースのコンテンツ配信や管理をオンラインで行う e ラーニングのアプリケーションを開発しました。これは、物理的な教室の制限や境界を取り払ったものです。短期間で習得できる比較的小さな学習ユニットに焦点を当て、学習効果を高めています。私たちの e ラーニングアプリケーションは、物理的な教室や印刷物を必要としないので、誰もが学習にアクセスできるようになります。

今後の目標

- + COVID-19 の大流行により中断していたグローバルトレーニングの再開
- + e-ラーニングの適用範囲を拡大し、学習への障壁を取り除く。



ジェンダーギャップを解消する

SCII では、多様性と寛容性がバランスの取れた刺激的な労働力を構築するための鍵であると信じています。従業員にとってより良い明日を築くことは、私たちの配慮を示し、チームにとって素晴らしい職場を作り、より明るい未来への道を切り開くことです。それは、性別、年齢、民族、信仰、身体能力、性的指向に関係なく、人々が最高の自分らしさを発揮できるようにすることを意味します。SCII の方針として、私たちは雇用において差別を行いません。私たちは、資格、スキル、経験が、あらゆるレベルのスタッフの採用、配置、トレーニング、昇進に関する意思決定の唯一の根拠であることを積極的に保証します。

業績ハイライトと目標に対する進捗状況

職場における機会均等の確保

現在の成果

- ✓ 女性の強いリーダーシップの積極的な推進
 - ✓ 男女共同参画の重要性に対する社員の意識向上
-

SCII は、女性の活躍支援を私たちの歩みの中で重要な分野と考え、女性リーダーの育成や女性社員のリーダー職への登用に力を注いでいます。私たちは、女性がプロジェクトリーダーやマネージャーとして活躍することを奨励しています。これは、平等な機会が与えられれば、女性が会社に多大な貢献をすることを私たちが知っているからです。

SCII は、すべての女性および男性を公平に扱い、同一労働同一賃金を実現しています。現在の従業員のうち、女性は 43%を占めています。まだ男女比に若干の差はありますが、リーダー育成に差別はありません。国連目標 5.5 に沿って、特に指導的立場にある女性の完全かつ積極的な参加を確保するために、私たちはできる限りのことを行っています。技術、経営、リーダーシップの

分野で女性の研修と専門的能力の開発を推進し、女性社員が会社の主導的な取り組みに参加することを奨励しています。

今後の目標

- + 2025 年までに、あらゆるレベルの女性管理職／雇用を 50%にする
- + 産休から復帰した女性へのサポート強化

今後 5 年間で、当社における女性の比率を高めることを目指します。2025 年までに、管理職と全雇用者における女性比率を 50%にしたいと考えています。また、育児休業から職場復帰する女性への支援も強化していきます。



国際女性デーを記念して植樹を行う SCII の女性たち

地域社会への貢献

—包括的で持続可能な経済成長の促進

関連する国連 SDGs の目標



持続的、包括的かつ持続可能な経済成長、完全かつ生産的な雇用、およびすべての人のためのやりがいのある仕事を促進する

- 8.3 生産活動、ディーセント・ジョブの創出、起業家精神、創造性、イノベーションを支援し、金融サービスへのアクセスを含め、零細・中小企業の正規化と成長を促進する開発指向の政策を推進すること。
- 8.5 2030年までに、若者や障害者を含むすべての女性と男性のための完全で生産的な雇用とやりがいのある仕事、および同一価値の仕事に対する同一賃金を実現する。
- 8.6 2020年までに、雇用・教育・訓練を受けていない若者の割合を大幅に削減する。
- 8.8 移民労働者、特に女性の移民労働者、不安定雇用の労働者を含むすべての労働者の労働権を保護し、安全で安心な労働環境を促進する。



都市と人間居住区を包括的で安全、かつ弾力的で持続可能なものにする。

- 11.a 国および地域の開発計画を強化することにより、都市部、都市周辺部、農村部間の経済的、社会的、環境的なつながりを支援する。



持続可能な開発のために平和で包括的な社会を促進し、すべての人に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルで効果的で説明責任を果たし、包括的な制度を構築する。

- 16.5 あらゆる形態の腐敗および贈収賄を実質的に削減する。
- 16.6 あらゆるレベルにおいて、効果的で、説明責任を果たし、透明性の高い制度を整備する。



持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

- 17.16 すべての国、特に開発途上国における持続可能な開発目標の達成を支援するため、知識、専門知識、技術、資金を動員し共有するマルチステークホルダー・パートナーシップによって補完される、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化すること。

包括的な経済成長の促進

SCII では、社会的流動性を高めるための機会創出に積極的に取り組んでいます。農村部や恵まれない環境にある人々を一貫して採用し、将来のキャリアを強化するための徹底した教育を行っています。また、現地の労働者に適切な賃金を提供し、貧困の連鎖から脱却できるよう支援しています。

業績ハイライトと目標に対する進捗状況

やりがいのある仕事の創出

現在の成果

- ✓ 地元・地方の新卒者の積極的な採用
 - ✓ 新入社員のキャリアアップのための充実した研修の実施
-

SCII では、新卒者の採用に力を入れ、十分な研修を行い、社会人としてのスキルを身に付けてもらうようにしています。この取り組みは、SDGs の目標 8.3、8.5、8.6 と密接に関連するものです。

安心して働ける環境づくりの推進

現在の成果

- ✓ 現地の肉体労働者を公平な条件で定期的に雇用する。
 - ✓ 現地の人々が生活を維持するための資源を提供すること
-

私たちは、現地で肉体労働者（庭師、清掃員など）を雇用し、適切な賃金を提供することで、繰り返される貧困の危機から脱却する手助けをします。また、必要な時には、地域の人々が私たちの水資源を利用できるようにします。地域社会との公平な関わりは、国連 SDGs のターゲット 8.8 に沿った、すべての人にとって安全で安心な労働環境の推進に役立っています。



地域との交流の一例として、道端の茶店を紹介します。近くに水源がないため、お茶売りは毎日何キロも水を運ばなければなりません。私たちの給水によって、彼女は茶店を経営できるようになりました。



道端の茶店

今後の目標

- + 農村部や恵まれない環境にある新卒者の採用・育成の継続
- + 地域社会との交流の拡大

11 地域振興を支える

SCII のオフィスビルや敷地を建設する際、私たちは意識的に Tier 3 都市（中堅都市）に投資することを決めました。その最大の動機のひとつは、長い間遠ざかっていた地元の人たちに仕事の機会を提供したいということでした。設立から数年、私たちはこの目標を達成し、地域社会の発展を積極的に支援し続けています。



日本人と交流する現地の子どもたち

業績ハイライトと目標に対する進捗状況

雇用とビジネスチャンスを創出する

現在の成果

- 地域の新卒者に雇用機会を提供する
- 地元の労働者や事業主へのビジネスチャンスの創出

就職活動では、地元の若者を優先的に採用しています。また、不利な立場にある従業員や地方の大学から積極的に採用を行っています。そうすることで、社会の流動性を促進することを目指しています。しかし、このような採用は、一般的に当社での長期的な雇用を約束するものであるため、当社にもメリットがあります。革新的なソフトウェアビジネスを Tier 3 都市で展開することで、国連 SDGs のターゲット 11.a に沿って、地方における経済と社会の前向きなつながりをサポートします。

困ったときのボランティア

現在の成果

- ✓ 災害時など緊急に必要とされる農村コミュニティへの支援
- ✓ 社会福祉向上のためのさまざまな奉仕活動を行う。

SCII では、地域の貧困を解消することが、国連 SDGs の重要な側面であると考えています。これまでも経営陣や社員が一丸となって社会貢献活動を行うことで、貧困に苦しむ地域社会の苦悩に応えてきました。地域振興を強化するという目標は、ターゲット 13.a に合致しており、このターゲットに関連したさまざまなボランティア活動を実施しています。



SCII のボランティア活動



今年は、カルナータカ州の地方で発生した地滑りや洪水の被害を受けたコミュニティに援助を届けるための募金活動を行いました。学校には本や文房具を、お年寄りには衣類を提供することができました。



SCII のボランティア活動

今後の目標

- + 地域発展のための新たなビジネスチャンスを創出する
- + 奉仕活動プログラムによる地方コミュニティへの支援をさらに強化する。



高い水準でのビジネス運営を維持する

SCII は、事業機能全体にわたって最高レベルのコーポレート・ガバナンスを定義し、それに従い、実践することを約束します。コーポレート・ガバナンスは、企業文化、方針、ステークホルダーとの関係などを含む、私たちの価値体系を反映したものです。誠実さは、私たちの価値観に基づいたガバナンス文化の中核であり、ステークホルダーの信頼を獲得し、維持することに貢献しています。

業績ハイライトと目標に対する進捗状況

コーポレート・ガバナンス

現在の成果

- ✓ あらゆる形態の贈収賄に対する容認しない姿勢
-

当社のコーポレート・ガバナンスの中心は「誠実さ」です。そのため、たとえそれが原因でビジネスを失ったり、大幅な遅延が発生した場合でも、いかなる形態の贈収賄も許さないというのが私たちの会社方針です。贈収賄と汚職に対する私たちのスタンスは、国連 SDGs のターゲット 16.5 と密接に関連しています。

サイバーセキュリティとデータプライバシー

現在の成果

- ✓ IMS-PMS 研修を全社員に実施、6 カ月ごとに更新
 - ✓ プライバシーとセキュリティのパフォーマンスについて、全部門が毎年監査を実施
-

お客様、会社、社員のデータを保護することは、私たちの最も基本的かつ重要な責任の一つです。これは、私たちにとって非常に重要な課題です。そのため、新入社員は入社後 2 週間以内に、役割に関係なく、情報管理システム（IMS）および個人情報保護マネジメントシステム（PMS）のトレーニングを受けなければなりません。

IMS-PMS のトレーニングでは、顧客や社員の機密データにアクセスする際の適切な行動について指導しています。これは、脅威の特定、リスクの軽減、その他の情報セキュリティプロトコルを通じて、技術や情報を保護することを含んでいます。トレーニングは全従業員を対象に 6 カ月ごとに繰り返し行われ、すべての部門は年 1 回、そのパフォーマンスについて監査を受けます。

私たちは、ガバナンスと倫理が、強固で安定した持続可能な組織の礎になると信じています。私たちは、誠実さと透明性によって業績が向上し、信頼と共感によってパートナーシップが促進されるように努めています。これらの価値観を守ることで、私たちのビジネス手法は、あらゆるレベルで効果的で説明責任のある制度を発展させるという国連 SDGs のターゲット 16.6 と密接に連携しています。

今後の目標

- + すべてのビジネスパートナーに対して、高い水準のビジネスインテグリティを推進する。
- + 最高レベルの情報保護とセキュリティの実践を継続する。



他者とのコラボレーション

SCII は、一人ひとりの労働が正当に補償される、公平で公正な社会の実現を目指しています。そのためには、志を同じくする組織とパートナーシップを組むことが不可欠だと考えています。

教育機関を超えたパートナーシップ

現在の成果

- ✓ 複数の業界団体に加盟
- ✓ 地元大学生との共同研究開発プログラム

SCII は、環境と地域社会に対する企業責任を果たすために、さまざまな活動を行う業界団体に加盟しています。

また、現地の大学生と協力して、現実の問題を解決しています。私たちのプロジェクトは、学生が批判的思考やコミュニケーションスキルを学ぶと同時に、プログラミングの楽しさを発見することを可能にしています。SCII のチームからの積極的なフィードバックにより、試行錯誤が奨励されます。ディスカッション、プレゼンテーション、便利なソフトウェアツールの作成など、さまざまなアクティビティがあります。

さまざまな機関とのパートナーシップにより、知識、専門知識、技術を結集・共有し、国連SDGs17.16 に沿った持続可能な未来に向けた取り組みをさらに進めています。

今後の目標

- + 地元の大学生とのコラボレーションを拡大する。



大学生との共同研究プロジェクト「バーチャルショッピングモール」



**Address : Plot No : Spl-17, Antharasanahalli,
KSSIDC Industrial Area Estate,
2nd Stage, (KSSIDC HandTool Layout),
Madhugiri Road, Arakere Post,
Tumakuru District, Karnataka,
India - 572106
Phone : +91 816-221-1724
Email : info@scii.in**